



石岡の風景(24) 師走の舟塚山古墳

交通事故非常事態宣言

年末年始の交通安全

十一月二十八日、総務庁長官が異例の交通事故非常事態宣言を行いました。この時点で、一月からの交通事故の死者が全国で一万人を超え、年内に一万一千人を超える恐れが出てきたためです。非常事態宣言の翌日の未明、日立市内でパトカーに追跡された盗難車が大型トラックに衝突し、乗っていた少年三人が死亡、一人が重体という事故が発生しました。さらに県内では夕方までに、三人が死亡し、昨年より交通事故の死者が七十数名多いという最悪の事態を迎えました。これから年末・年始にかけて交通事故の多発が予想されます。家族そろってこの非常事態に備え、交通安全を考えていきたいものです。



事故を呼ぶ

酒がわき見が

スピードが



▶12月1日の早朝、年末年始の交通安全を願って石岡駅前市民団体と行政関係者による交通安全キャンペーンが行われました。

●高齢者の事故は道路横断中 石岡警察署管内では、十一月末現在二十三名の方が交通事故で亡くなっています。そのうち七名が六十歳以上の高齢者で、全体の三十パーセントを占めています。原因の多くは左右の安全不確認で、高齢者が事故にあうのは道路横断中とバイク・自転車の運転中が最も多くなっています。

●青年ドライバーの事故多発 昨年と比べて大幅に増えた交通事故。その中でも、十六歳から二十九歳までの青年ドライバーによる事故が、約半数にも及んでいます。原因はスピードの出し過ぎと飲酒運転。スピードを控え自ら安全運転を心掛けていけば、みすみす未来ある命を失うことはなかったことでしょう。

●自転車の二つのポイント

●激増した平成元年の交通事故 石岡警察署と石岡地区安全協会発行の「石岡交通ニュース」十一月十七日号に、三件の交通事故が載っていました。

①十月四日、午後六時二十分ごろ小川町の町道で六十歳の女性が自転車に乗り横断中、左から走ってきた普通乗用車にねらわれて死亡。

②十月十五日、午前九時三十分ごろ東石岡の国道で八十四歳のおじいさんが自転車に乗って横断中、大型トラックにねらわれて死亡。

③十月二十日、午後七時五十分ごろ高浜の市道で自転車に乗った五十七歳の男性が横断中、普通乗用車と衝突し死亡。

いずれも自転車での横断中の出来事ですが、わずか二週

激増した平成元年の交通事故

最近、自転車に乗りはねられる交通事故が増えています。自転車は免許証がいらない手軽な乗り物です。しかし、一歩間違えると大変危険な乗り物です。

①交差点では必ず一時停止

②夜は必ずライトをつける



▲11月24日ふたば保育園で行われた園児向けの交通安全教室。婦警さんの話に子供たちは真剣な眼差しです。

★県内の交通事故(11/30現在)

年	1989	1988	増減
発生	12,695	11,811	+ 884
死者	426	353	+ 73
傷者	16,478	15,221	+1,257

間ほどで同じような事故が相次ぐとは異常な事態です。交通事故は決して、万が一の出来事ではありません。二百人に一人という驚くべき高い確率で発生している日常茶飯事の出来事です。常に家庭で職場で話し合い、交通安全を語り合う機会を持ちたいものです。

自転車の事故が増えています

●桜井洋子 (41) 行里川一三

私は交通安全母の会のメンバーとして約四年、石岡市の交通安全運動に協力させていたただいています。



ますし、村上六軒線のような四車線事故が多発している道路も増えています。自転車はちょっとした接触でも頭などを打ってしまうことがあるので要注意です。

一方、ドライバーはいつも初心に帰ってゆとりある気持ちで運転することが必要でしょう。身近な交通事故をみるとやはり悲惨です。怖いものです。交通事故は、もう人ごととは思えません。

市民「交通安全を考える」提言

交通安全は

家族ぐるみで

●小松崎松之(71)八木二五(42) 昭和五十四年から今日まで交通安全指導員を続けています。

普段は関川小学校の通学路に立ち、朝の立哨を行っています。毎月一日の日の早朝には、高浜駅・愛郷橋交差点などで交通安全キャンペーンもやっています。関川地区の県道は狭く歩道がないので、きちんと一列で歩いているかどうか注意しています。子供が上から、事故防止につながると思っています。



出することもあります。交通安全は、家族ぐるみで考えなくてはなりません。外に出るとき、暖かい言葉を送り出すだけで精神的に大変効果が上がります。事故防止につながると思っています。

石川「お山」の今昔

石川に今も
残る薬師信仰

関鉄・石川のバス停から、県道を東に向かつて百メートル余り進むと、丁字路を右に折れて森の方へ登って行く道がある。この道を地区の人々は「お山の道」と呼んでいる。登っていくと中段の左手に石仏群や三つの堂宇がある。ここが地区の人々のいう「お山」である。

「大日様を祀る大日山は、かつて村や集落などにある小高い山の頂上に塚を築き、その上に石仏や石塔などを祭り、そこは、水田などが見渡せるような所が多く、農耕祈願のための山（場）であったという」

「大日」という小字は、寛永大日の石仏が分布する。県南県西地方に圧倒的に多く、県北には見られない。大日塚は御山・於山・お山とも呼ばれている。



溝に敷かれた石橋を渡って、境内に入ると堂脇に並んだ石仏群と薬師堂（九尺×二間）と大日堂（三尺×四尺）と寮（三間×二間）の三つの堂宇がある。寮の裏に回ると、集落の屋根や湖岸まで広がる水田、さらに湖面の向こうに、遠く対岸の丘陵が見渡せる。

が積もって傷んだ薬師堂の屋根と大日堂を修理して、両堂の瓦が新しく葺き替えられ、水道も整備された。

この地区では、八月三十一日と一月二十四日の年二回全戸参加で地区の清掃作業が行われ、境内と堂宇の保全に努めている。

薬師堂には、奉懸御□□常州石川村・延宝七年己未八月吉日（一六七七）の銘のある什物があり、遠い創建のときが偲ばれる。

昔の農作業は、現在では考えられないような厳しい労働条件の下での作業で、疲労から体調をくずしたり、また湖岸の風土病ウイルス氏病などもあり、諸病を療す現世利益をうたうこの仏に寄せられた信仰は当然のことであった。

この信仰は、医療の発達しなかった時代を越えて現在も毎月のお詣りが続いている。

しかしながら、大日山は祀り続けられ樹木寄進の碑などもあって、お山への信仰は時代を越えて続いている。地区としてのお祭りは中断のときもあったが、多くの民間習俗が消えていった昭和三十年代にいまも復活された。

この山の下を通る坂道は、舗装された立派な市道であるが、以前は牛馬車の通行の難所といわれ、怪我などの事故が続いたという。そこで石川三区の役員さんたちが協議してお祭りをするようになった。

本尊が大日如来様であるが、お祭りには幣束を供え注連縄を張って、神仏混淆の姿である。毎年九月八日は、石川三区の役員さんたちが年番交替で甘酒や酒肴を準備し、お詣りの人々の接待に当たっている。

石川坂井戸にある「お山」は、小字ではないが、そこは大日堂があるのでこう呼ばれるのである。堂宇は薬師堂

の方が大きく、ここをお薬師様と呼ぶ人も多い。

両側の山が迫って、崖から湧き出した清水は細流となって流れ、三百年前の元禄のころは六品川の支流でもあった。年を経て東側の山が、また昭和の初期に西側の山が削られて、山谷の変化とともに清流もまた消えていった。古老の話には、流れの中に光る砂粒を集めて垣で滑かす老人や、崖から沁み出る清水の小穴に群れる小蟹を捕えて遊ぶ子供たちがいたという。昼は山鳩が、そして夜はみみずくの鳴く声が聞こえた。谷間の道の傍は薄れたが、お山の迫は急な坂道である。

昭和の初期、大師講が盛んだったころ、講中の人々の唱和する光明真言が、また鈴の音に合わせて御詠歌が木立ちの中を流れ、ここ大日堂の前より髪を肩に弘法様と近隣の村々を回ったという。

毎月旧暦八日は、信仰会の人々が参集して平常は静寂なお山も賑わいをみせる。前日に寮や両堂がお掃除されお花も飾られる。当日午前九時には、信仰会の人々は薬師堂に上がり、薬師如来像を拝んで御詠歌を上げる。また百本の水引の束を折りながら

「オノコロコロ、センタリ、マトウギ、ソワカ」と薬師真言を唱和する。

「お山へ来ると心が洗われるような気がする。今日の無事息災を感謝しながら、一心に薬師真言を唱えようと後生安

大日山が「お山」である。同様に、井関の長者峰でも大日様のいる下の水田を「お山下の田」と呼んでいるという。ここ大日山には、高さ一メートル・横四メートル・奥行二メートルの塚の上に、縦一・一メートル・横一・二メートル・厚さ十センチの雲母片岩碑が建っている。石質や大きさは、他地区で見られる寛永大日碑と同様であるが、碑には種子も像も像立年の銘も刻まれていない。近くに小岩片が散っており、雨露で剥落したものか不明である。

石川は旧水戸領で、元禄時代光圀公による社寺改革などで、仲丸のお寺は穴倉へ引寺されている。神社も井関と石川の二社が統合され、両社大明神として新たに山崎の森に鎮座している。一連の宗教統制は民間信仰にも及び、特に湯殿山系の修験・行人は、厳しく処分の対象となった。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウヤク・ドクダミ・モチグサなどを扱うほか、田畑の土壌分析も行っています」

「茨城県青年の船に参加した感想は？」

「十一月十七日から二十六日まで、韓国ソウル・中国北京へすべての出会いを求めに行ってきました。石岡市から

七名の男女が参加し、多くの茨城県の若者たちと知り合うことができました。男性・女性ともずいぶんすばらしい人がいることも知りました。これから地域づくりを行っていくための貴重な人間のつながりができました」

「石岡については？」

「いま、隔週の火曜日の夜、プラザホテルで火曜サロンの勉強会を行っています。石岡の若者が三十人ほど集まり活性化を考えています。石岡市は、東京・学園都市に近く県内で最も可能性を秘めた街です。その恵まれた条件を生かすことが、我々に与えられた課題だと思います」

「ヤング・インタビュー」

ひまわり談話室 70

海老沢誠一(30) 国府五十三

家業の「丸玉商店」を継いで一年弱、いま海老沢さんは

十一歳ぶりに石岡市に戻り、地域の若い力として仲間たちと石岡の活性化に取り組んでいます。

仕事について？

「よくどんな仕事をしているのかと聞かれますが、うちは米と肥料と香辛料を扱っています。大学を卒業してから、龍ヶ崎市の肥料問屋「小野瀬商店」で修行をしてきました。油粕・骨粉などやトウ

巴形銅器が市民俗資料館に展示

石岡小学校の敷地内にある市民俗資料館(総社1-2・市民会館の裏手)には、市内から出土した貴重な考古資料や民俗資料が展示してあります。

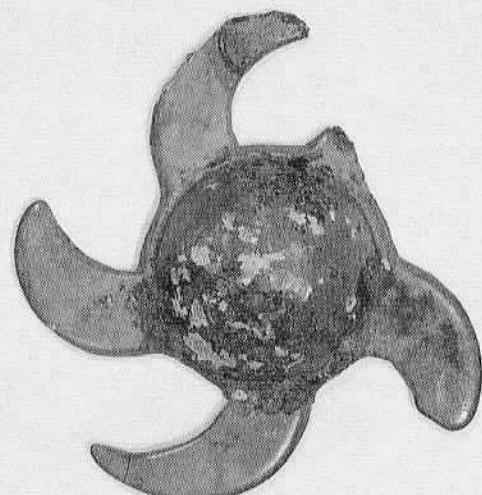
このたび、市有形文化財(考古資料)に指定された巴形銅器が2階のコーナーに展示されました。舟塚山古墳からの出土品や茨城廃寺の墨書土器、鹿の子遺跡の漆紙文書、常陸国分寺の古代瓦とともに公開されています。ぜひご来館ください。

●石岡市民俗資料館

休館日:月・火曜日、祝祭日

開館時間:9:00~16:30

☎3-2398



▲昨年の夏に染谷の宮平遺跡から出土した市指定文化財・巴形銅器。

●大正期に生きた人々
大正二年発行の『新治郡名所案内』に次のような興味を引く一文が載っています。
石岡町は戸数二千五百、人口一万五千を有



▲大正期から昭和初期にかけて、石岡の農家ではどこでもこのような光景が見られました。

いしおか回想録

39

写真で綴る



▲守木町(現・国府6丁目)から中町通りを写した貴重な写真。大火前の街路は今より狭く、瓦屋根の古風な商店が続いています。

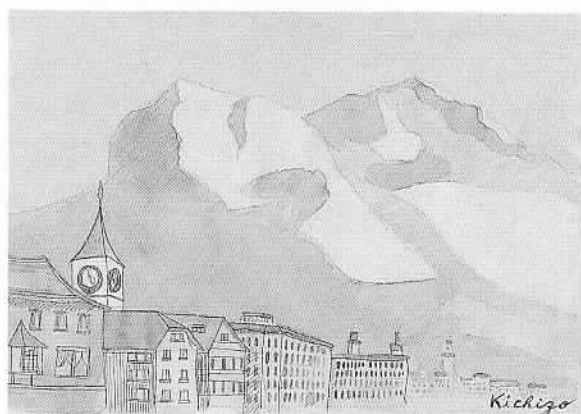
市長歳時記

●欧州業務視察(その2)

チューリッヒというスイスの山あいの町に着きました。スイスは四方平方キロメートル(ほぼ九州の大きさ)で四分の三が山岳地帯、しかも人口は約六百五十万とこぢんまりとした永世中立を宣言している国です。

緑一色の牧草が、標高二千メートル位の高地まで広がり、白い建物とその中腹に点在し箱庭のようになどできれいな湖があり、平和のシンボルのようでした。
しかし、意外にも十八歳になると二十一週間の兵役があるそうです。

雇用は日本のように終身雇用ではなく、三年契約にて職業別の組合があり、その三年毎に新たな企業に就職し、その経験の状況にて給与が決められるという仕組みになっています。
しかし、スイス人は非常に勤勉で、干し草作りの重労働を小学生ぐらいの子がみんな真つ黒になって各家庭の付近で働いているのを見ました。日本の農家の子供たちはどうでしょうか。
西ドイツのバートホンブルグ市では、公立高校の校長先生にお話を聞きました。シユタイン先生からドイツの教育制度について長時間講演を聞きましたが、国旗国家の問

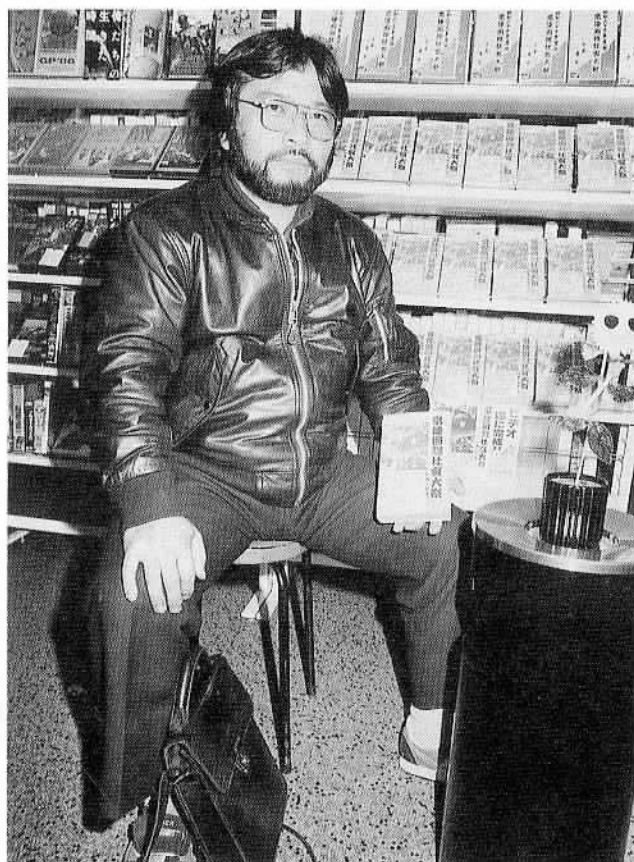


Kichigo

この人と30分 (22)

まぢづくりグループPGI

の村田一夫さんに聞く



▲完成した「常陸国総社宮大祭」のビデオテープを手に語るPGIの村田一夫さん。

生花店・菓子店・電器店・レンタルビデオショップ・米屋・デザインスタジオ・洋装店とバラエティにとんだ商業者の若手八名で構成されるまぢづくりグループPGI。そ

のスタッフと常陽芸文センターが協力しあって制作した「常陸国総社宮大祭」のビデオが十一月下旬に完成し、好評のうちに販売されています。石岡のお祭りをドラマチックに捉え、密度ある構成の中に、お祭りにかける若者たちの心意気を感動的に表現した出色の作品といえるものです。PGIのメンバーの一人、村田一夫さん(41)は、

「取材は、常陽芸文さんからカメラ三台・スタッフ八人が来て、お祭り前の三日間とお祭り三日間の模様を収めました。私たちは取材先との連絡や道案内・機材運搬などをして制作に協力しました。自信作です」と胸を張ります。神幸祭・還幸祭での神事や総社宮境内での御霊移しの儀式など厳かなシーンも収

録されています。「テープは四十八分にまとめられ、石岡のスピリットが凝縮されています。常陽芸文さんの『地域文化に貢献』という趣旨にそって、価格は三千九百円という最低の値段に抑えられました」と村田さん。PGIは昭和六十二年から、お祭りグッズ・ユニセフカードの販売・お祭りマップの配布などを行い、まち起こしの研修と実践を続けてきました。全国仕掛け人会議や村起こしの先進地などにも足を運び、広い視野から石岡を眺めようと努力も重ねてきました。

「このビデオを一つのきっかけとして、石岡のスピリットを色々なところに発見し、市の活性化に役立てればと考えています」と村田さんは熱っぽく締めくくりました。

さて、上の写真はその時代の農家の作業風景です。針金で吊るされたランブを前に、縄ないとムシロ作りをする三人の親子。髪型や着物が当時の風俗を物語っています。
下の写真は、大正期の石岡のメインストリートを記録した貴重なもの。金刀比羅神社の前に立つ人たちが、珍しうにカメラを見つめています。



文化・スポーツ

★図書館☎4-1507 ★府中地区公民館☎4-1530 ★東地区公民館☎6-6503 ★城南地区公民館☎6-3341

スポーツ情報

秋季市民 テニス大会

秋季市民テニス大会(軟式)が、十月二十九日柏原テニスコートで行われました。結果は次の通りです。

●Aブロック
優勝 清水・津田
準優勝 稲葉・小松原

力作ぞろいの161作品 ——第三十回市美術展——

第三十回石岡市美術展が、市・市教育委員会・市文化協会主催で、十一月二十三日から二十六日まで市民会館で開かれました。



▲訪れる人もつい足を止めて見入ってしまう素晴らしい作品の数々。

今回出展された作品は、日本画二十四点・洋画二十五点・彫刻三十三点・美術工芸三十点・書道二十五点・写真五十点・デザイン四十四点の計百六十一点です。

各賞の入賞者は次の通りです。

【日本画】

●議長賞「ふるさと」二題 五月女喜八
●教育長賞「梅の華」富田四郎
●文化協会会長賞「花心」本木清明
●商工会議所会長賞「早春」中村芳夫
●観光協会会長賞「茄子と南瓜」綿引栄
●公民館長賞「蓮」吉田三重子

【洋画】

●市長賞「まつり燃ゆ」土田憲伺
●議長賞「みなと」富永幸子
●教育長賞「彫る」

伊藤道子 ●文化協会会長賞「あじさい」竹盛誠
●商工会議所会長賞「テトラポットのある風景」桜井はつ江

【彫塑】

該当者なし

【美術工芸】

●教育長賞「ぼたん」松谷淑子
●商工会議所会長賞「風景」大和田松子
●公民館長賞「自由ヶ丘南蛮水指」関根きい子

【書道】

●市長賞「百人一首」福田千代子
●議長賞「唐詩」諏訪昌光
●教育長賞「唐詩」土田宗司
●文化協会会長賞「良寛詩」青山政広
●商工会議所会長賞「唐詩」加藤たか子
●観光協会会長賞「王勃詩」浅野弥栄子

【写真】

●市長賞「外野席」真家義之
●議長賞「ダンサー」高瀬吉夫
●教育長賞「漁具の休息」佐藤勝之
●文化協会会長賞「香織」金山正礼
●商工会議所会長賞「笑顔」吉田和小池三郎
●公民館長賞「Kちゃん」方野敏文



【デザイン】

●市長賞「晴れ姿」堀米理子
●教育長賞「インドの映画ポスター風イラストレーション」淡江誠一郎

図書館 きょうは何の日？ 図書館で調べてみましょう

みなさんの家庭には、カレンダーが貼っていませんか？
それを見て、みなさんは「あ、今日は何かの日だな」と月日を確かめます。一年三百六十五日、みなさん一日一日にその日の名前がついているわけですね。

今日一日をむだなく、中身のいっばい使った日にするために、みなさんががんばっていることでしょうか。
さて、過ぎ去った今日という日はどんなことがあったのかなのか、どんな人が生まれたり亡くなったか、今日の日のだろうか——と考えるたり

「三」し尿収集日程

種別	収集日	最終日	開始日
燃えるゴミ	月・木	12月28日	1月4日
燃えるゴミ	火・金	12月29日	1月5日
燃えないゴミ	水	12月27日	1月10日
燃えないゴミ	土	12月30日	1月6日
燃えないゴミ	木	12月28日	1月4日
燃えないゴミ	火・金	12月29日	1月5日
燃えないゴミ	水	12月27日	1月10日
燃えないゴミ	土	12月30日	1月6日
燃えないゴミ	木	12月28日	1月4日
燃えないゴミ	火・金	12月29日	1月5日
燃えないゴミ	水	12月27日	1月10日
燃えないゴミ	土	12月30日	1月6日

年末年始は、ふだんより多量のごみが出されます。ごみ収集日程表を参考に期限内にごみを出してください。最終収集日は指定日より異なりますので、大掃除は最終収集日に間に合うようお早め。また、多量のごみは、ごみ処理施設に搬入するなどのご協力をお願いします。

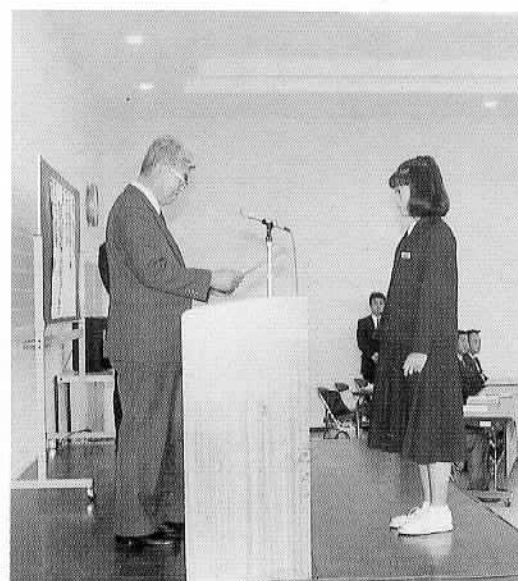
年末年始の業務

市役所 ☎3-1111	12月28日午後から1月3日まで休み 年末・年始の休み期間中は、出生・死亡届出などの戸籍届出事務は日直室で受け付けますが、印鑑・住民票などの証明事務は取り扱いません。
メディカルセンター ☎4-1385	12月29日から1月3日まで休み
市立図書館 ☎4-1508	12月27日から1月5日まで休み
府中・東・城南地区公民館 ☎4-1530, 6-6503, 6-3341	12月28日から1月4日まで休み
勤労青少年ホーム ☎4-0322	12月28日から1月4日まで休み
青少年センター ☎4-1198	12月29日から1月3日まで休み
市民会館 ☎2-5187	12月29日から1月3日まで休み
児童センター ☎6-3678	12月28日から1月4日まで休み
白雲荘 ☎6-4126	12月27日から1月4日まで休み
石岡市B&G海洋センター ☎3-5191	12月27日から1月5日まで休み
福祉会館 ☎2-2940	12月28日から1月4日まで休み
潮北水道企業団 ☎4-3232	12月29日から1月3日まで休み ※水道管破裂の場合ご連絡ください
石岡地方斎場 ☎2-6828	1月1日から1月3日まで休み



▶市内四中学から三十八名の標語が入選(十一月十四日)
「税を知る週間」についての標語の表彰式が、福祉会館で行われました。

国税局長賞には、田中あづささん(城南中)の“あなたの希望きみの夢税はみんなの守り神”が入選しました。



まちの
できごと



市教育委員会・石岡青年会議所主催の第三回石岡地区「少年の集い」が市民会館で開催。
十三中学から選ばれた十三人の中学二年生が、会場に集まった八百五十名の前で堂々と発表しました。最優秀賞は、前島美菜子さん(国府中)が獲得



ぼくらの名物先生 ⑥〇

●石岡中学校小林桂子先生(28)

「毎日変化があつて楽しいですよ。つらいこともありませんが、いいことがあると帳消しになつちゃうんです」と、生き生きと話してくれる小林先生。

「名札やお箸を忘れるときびしいけど、よく気が付く明るい先生」と、山口知久君。

小泉優子さんは「合唱祭で一生懸命練習したのに優勝できなくて、残念だったね——



ーと楽器（コントラバス）の演奏。生け花は師範の腕前の独身女性です。

白岩京香さんは、「お母さんという感じ。何でもこなすパフエクトな先生です」

ーと言って涙を流したりしてデリケートなんです」

音楽と女子体育を教えている小林先生から、「いつまでも素直な気持ちで、子供らしさを失ってほしくないですね。」

くらしのガイド

11月の市内交通事故

発生件数	17(250)
死者	2(5)
傷者	15(323)
()内は本年1月からの累計	

★市役所 ☎3-1111 ★市民会館 ☎2-5187 ★テレホンサービス ☎3-3333

休日・夜間緊急診療

●休日受付 午前9時～11時30分 (歯科診療は11時30分まで)
午後1時～3時30分 ●夜間受付 午後7時～10時30分

月	日	産婦人科	外科	内科・歯科・小児科	夜間(内科・小児科)
12月	29日	飯田医院 ☎2-2268	根崎医院 ☎3-6611	芥沢医院(内科) 寺門歯科医院	1月1日・2日 3日・6日 7日・13日 14日・15日 20日・21日 27日・28日
	30日	富田産婦人科医院 ☎3-0311	石岡第一病院 ☎2-5151	柏木医院(内科) 小松崎歯科医院	
	31日	松葉病院 ☎3-2157	滝田整形外科病院 ☎3-2071	同愛病院(内科) 岡崎歯科医院	
1月	1日	松山医院 ☎6-3812	友部整形外科医院 ☎6-2339	メディカル センター ☎4-1386	メディカル センター ☎4-1386
	2日	飯田医院 ☎2-2268	齊藤病院 ☎6-2131		
	3日	富田産婦人科医院 ☎3-0311	青木医院 ☎3-0221		
	7日	松山医院 ☎6-3812	石岡市医師会病院 ☎2-4321		
	14日	松葉病院 ☎3-2157	同愛病院 ☎2-2261		
	15日	富田産婦人科医院 ☎3-0311	府中病院 ☎3-2288		
	21日	松葉病院 ☎3-2157	山王台病院 ☎6-3130		
	28日	飯田医院 ☎2-2268	田中病院 ☎3-2288		

ふるさと 散歩道 84

ウナギを 食べない 木間塚長者

「うちでは代々ウナギを食べません。おいしいという話は聞いていますが、山口家に伝わる家訓として子供たちもそれを守っています」と北府中一丁目に住む山口守雄さん(48)は意外な言葉を口にしました。山口さんは、その昔北の谷の地に住んでいた木間塚長者の末裔として、木間塚長者一門の墓所を守ってきました。

▶巨大な木間塚長者の石塔とその末裔にあたる北府中一丁目の山口守雄さん。



井の一つ「野々井」があり、そこに大ウナギの伝説が伝わっていました。あるとき、この大ウナギを一人の農民が捕まえて殺したところ、その血が三日三晩山王川を流れ霞ヶ浦に注ぎ、農民は大患いをしました。周囲四十メートル、高さ約四メートルの円墳は、

山口家で代々ウナギを食べないのは、野々井の大ウナギの伝説によるものだそうです。山口家の屋敷から北西へ三百メートルほど行ったところに、木間塚長者の墓所がありました。周囲四十メートル、高さ約四メートルの円墳は、四里四方を治めた豪族にふさわしい威厳が漂っています。木間塚長者は、名を木間塚将監といい、その館には数多くの宝物・世にも珍しい什器・黄金千杯・朱漆千瓶、五穀は七つの蔵に溢れるほどあったといわれます。慈悲深い長者は、困る人に恵み、廃れた国分寺を復興するなど地域のために財産を投げ出すことを惜しみませんでした。

円墳の頂上部には、一基の巨大な五輪塔がありました。高さ約一・五メートル、残念ながら上の空輪・風輪が欠けていますが、それにしても木間塚長者にふさわしい立派な石塔です。

中世から連綿と続く木間塚長者の家系と共に、ウナギを食べないという家訓が伝わっていたとは驚きです。

「一日三人以上の人間に接していればボケない」という説があります。七十歳を超えても、緊張感と刺激がある限り脳細胞は衰えないそうです。十一月半ば、全国広報広聴研究大会が水戸で行われ、北海道から九州まで百人に近い広報マンに会いました。ボケ人数をはるかに超えています。が、その夜水戸の銘酒「副将軍」を飲み過ぎて記憶がありません。あの日は一体何だったのか、私の脳細胞は今もって悩んでいます。

納期を忘れないでね

12月
固定資産税(3期)
都市計画
国民年金保険料
下水道事業
受益者負担金

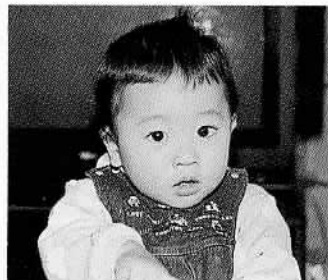
1月
市県民税(4期)
国民健康
保険税(6期)
国民年金保険料

おくやみ (10月届出)

福島 82 国府一
岡野 87 東大橋

こんにちは 赤ちゃん

●浅野和彦くん 一歳二カ月 国府七丁目
両手を挙げてバンザイをしたり、力道山の真似と言われて全身の力を込めてこぶしを作ったり——みんなに愛敬を振りまいて、大忙しの和彦君です。



●善意銀行
善意銀行への暖かいお心、本当にありがとうございます。

★金銭の部
水戸ヤクルト販売 六一、七四六円
サクラ服装学院カルチャ 二〇、九七〇円
サロントウン情報

★物品の部
人見 ふじ国府五 マフラー
さつき会 雑布10枚タオル15本

編集後記

「一日三人以上の人間に接していればボケない」という説があります。七十歳を超えても、緊張感と刺激がある限り脳細胞は衰えないそうです。十一月半ば、全国広報広聴研究大会が水戸で行われ、北海道から九州まで百人に近い広報マンに会いました。ボケ人数をはるかに超えています。が、その夜水戸の銘酒「副将軍」を飲み過ぎて記憶がありません。あの日は一体何だったのか、私の脳細胞は今もって悩んでいます。

健康相談

月	11	5
11月	11日 市民会館 午前10時～午後12時 午後1時～午後3時	5日 商工会議所 午前10時～午後12時 午後1時～午後3時
12月	25日 府中地区公民館 午前10時～午後12時 午後1時～午後3時	18日 東地区公民館 午前10時～午後12時 午後1時～午後3時

●市民健康相談 福祉会館(国府5-7-1)
毎週月・水・金曜日 午前10時～午後3時
●健康教室 三村農業協同組合
1月30日 午後1時30分～午後3時

赤ちゃん健診

●10カ月児健診(平成元年2月出生児) 国府五
1月10日 午後1時～午後2時
●1歳6カ月健診(昭和63年7月出生児) 国府五
1月17日 午後1時～午後2時
●3歳児健診(昭和61年12月出生児) 石岡保健所
1月23日 午後1時～午後2時
※1歳6カ月児・3歳児は歯ブラシをこ持参ください。
※病気の時、特に伝染性疾患の場合は翌月においでください。

各種相談

●国民年金・厚生年金相談 石岡商工会議所
1月5日 午前10時～午後2時30分
●義肢・車いす器具等巡回修理 土浦市社会福祉センター
1月17日 午前9時～午前12時
●高齢者無料職業紹介所 福祉会館(国府5-7-1)
毎週月曜日・土曜日
●精神保健相談 石岡保健所 ☎4-1335
●専門の精神科医師による相談
1月10日・24日 午前9時～午前11時(予約制)
※月曜日・金曜日 午前9時～午後4時
●消費生活相談 毎週月曜日・土曜日市役所市民活動係

困り事

●市民相談 毎週月曜日・土曜日 市役所市民相談室
●困りごと相談 福祉会館 ☎2-2940
1月5日・19日 午前10時～午後3時
●行政・登記相談
1月11日 午前10時～午後3時 市役所会議室
●法律相談 市民相談室(予約は電話で行ってください)
1月9日 長谷川恒弘弁護士 午後1時～午後4時
1月23日 野武 興一弁護士 午後1時～午後4時
●交通事故相談 福祉会館 ☎2-2940
1月19日 午前10時～午後3時